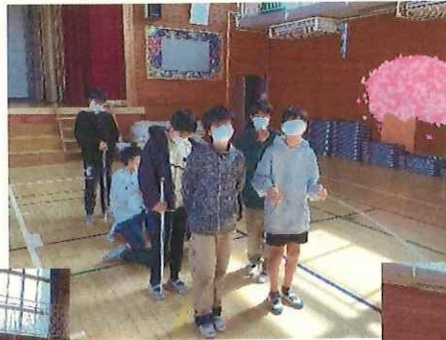


東水元小学校



・視覚障がい者の方が、どのような視野の中で生活しているのかを紹介された際は、あまりの視野の狭さに驚いている様子だった。

・アイマスクをして歩行した際は、ガイド役の児童が声を掛けても中々方向が分からず困惑している様子であった。

・ガイド役の児童が優しく腕をつかませてあげることで、マットやパイプイスなどの障害物を避けながら歩行することができた。

・これから先、視覚障がい者の方と会ったときに、どうすればいいかという実践的な視点をもって、児童は学習に参加していた。

東水元小 4年生



身近なところにある点字の読み方を教えてもらい、子供たちは関心をもって聞いていました。点字を触って、その難しさに改めて気付いていた様子です。点字を打つ際には、実際に道具を用いて楽しく活動していました。点の並びの決まりを教えていただきましたが、それについては理解が難しそうでした。点字の名前シールをいただいて、喜んでいる姿が印象的でした。

葛飾区立東水元小学校



児童は、高齢者体験を通して、高齢者の大変さについて改めて感じていた。
また、大変さから、児童は「今後、高齢者に優しく接していきたい」と考えていた。
児童は、高齢者疑似体験を通して、高齢者がやりたくてもできないことに気付いていた。
自分の生き方を見直すきっかけにしていた。